

為替週間展望 = ドル円は 109円台で落ち着いた動きか

[12月23日からの1週間の展望]

週間高低 (カッコ内は日)		12月16日～12月20日			
始値	高値	安値	終値	前週比	
ドル・円	109.37	109.68(16)	109.18(19)	109.30	-0.08
ユーロ・ドル	1.1126	1.1175(17)	1.1107(19)	1.1117	-0.0004

=====

国内株・金利 / 米国株・金利		終値		前週末比	
日経平均株価	ダウ平均株価	日本10年債利回り	米10年債利回り		
23,816.63	28,376.96	0.012	1.920	+0.030	+0.098

=====

<来週の主要経済統計等>

- 23日 日本10月景気動向指数改定値
米11月新築住宅販売件数
- 24日 米11月耐久財受注
- 26日 米MBA住宅ローン申請件数
米新規失業保険申請件数
- 27日 日本11月雇用統計、日本11月有効求人倍率
日本11月小売業販売額、日本11月鉱工業生産指数

【前回のレビュー】米中の貿易協議の合意報道や英総選挙での与党保守党の勝利のニュースなどから、ドル円は109円台を回復して堅調な流れを見せている。ドル円は下げても底堅い流れを続けており、110円乗せを試す可能性もありそうとした。

【欧米はクリスマス休暇でドル円は小動きで推移か】

米中貿易協議で第1段階の合意に達して、15日に予定されていた米国による対中関税第4弾の発動は見送られた。これを好感して16日の週は米国株は堅調な動きを見せて、過去最高値の更新場面となった。日経平均は年初来高値更新後に利益確定の売りに押されて軟調に推移している。

リスク選好ムードの高まりで、米10年物国債利回りは1.92%前後まで上昇した。円売りの動きもあってドル円は109円台後半まで上昇したものの、19日のNY市場では12月のフィラデルフィア連銀指数や11月の米中古住宅販売件数などの米経済指標が予想から下振れしたことで109円台前半まで軟化した。

10～11日の米連邦公開市場委員会(FOMC)では大方の予想通り、政策金利は据え置きとなり、FOMCメンバーによる政策金利見通し(ドット・プロット)では来年1年間の政策金利の据え置き見通しが示された。トランプ米大統領による利下げ圧力は引き続き警戒されるものの、今後の政策金利動向は経済指標に左右されやすくなると思われる。

今月のFOMCでパウエル議長が利上げに対するハードルの高さを強調しており、経済状況の好転や物価上昇が継続しない限りは、利上げに動く可能性は低いとみられる。このため、今後の政策金利の行方は利下げが据え置きという方向で進みそうだ。

23日の週はクリスマス・ウィークとなり、25日は欧米市場がすべて休場となる。アジアでも多くの国が休みとなる。このため、休暇ムードで市場参加者が大きく減少し

て、為替市場は落ち着いた動きが見込まれる。政治的、軍事的な突発的な事件などが起きない限りは各国の株式も通貨市場も大きく動きにくいとみられる。

ドル円は109円台前半では底堅い動きを見せている。109円接近では買いに支えられる展開となりそうだ。109.70円台では売り圧力に押されやすくなっており、110円手前での上値の重さが続くと思われる。このため、ドル円は109円台で落ち着いた動きが見込まれる。ドル円の目先の予想レンジは、108.90～110.00円。

今後の日米の経済指標やイベントとしては、23日に日本10月景気動向指数改定値、米11月新築住宅販売件数、24日に米11月耐久財受注、26日に米MBA住宅ローン申請件数、米新規失業保険申請件数、27日に日本11月雇用統計、日本11月有効求人倍率、日本11月小売業販売額、日本11月鉱工業生産指数などがある。

【ポンドは下落基調が続く】

ポンドは13日にかけて大きく上昇した反動から下げに転じている。英国のジョンソン首相が来年1月末の離脱合意後、来年末までと予定されている移行期間について延長を回避するための法改正を進めていることが、市場の警戒感を誘っている。

ポンドドルは一時1.30ドルを割り込み、ポンド円は142円割れの場面も見られるなど下落基調で推移している。EU離脱後の移行期間の間にEUとの貿易協議がまとまらない可能性が懸念されており、ポンドドル、ポンド円ともに軟調な地合いが続きそうだ。目先の予想レンジはポンドドルが1.2800～1.3200ドル、ポンド円は140.00～143.00円。

ユーロドルは1.11ドル台でもみ合いが続いている。1.12ドル接近では上値を抑えられるものの、1.1100ドル接近では底堅い動きとなっている。方向感の出てくれない動きが見込まれ、1.11ドル台を中心とするみ合いとなりそうだ。ユーロドルの目先の予想レンジは、1.1080～1.1180ドル。

日米以外の今後の経済指標やイベントは、クリスマス・ウィークのため特になし。25日はクリスマス、26日はクリスマス休暇で欧州市場は休場となる。

MINKABU PRESS 佐藤昌彦

※投資や売買については御自身の判断でお願いします。

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については保証を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。